

研究結果報告書

日本における主な MICE 都市の誘致戦略

所属： 台中科学技術大学
役職： 助理教授
氏名： 陳 玉蒼

MICE とは Meeting（企業系会議）、Incentive Travel（企業の報奨、研修旅行）、Convention（国際会議）、Exhibition/Event（展示会、見本市やイベント）の頭文字を取った用語であり、多くの集客交流や大きな経済波及効果をもたらすビジネスイベントの総称である。

2020 年東京オリンピック、パラリンピック招致が、日本にとって MICE 誘致の成功例と言われるが、国際会議の開催もアジアのトップである。

本研究の目的は二つある。まず、一つ目は、日本における MICE 都市の誘致戦略、都市イメージアップ、特色の創出、MICE 関連施設の集積や完備についての現状や課題を明らかにすることである。次に、二つ目は、少子高齢化が進んでいる過疎地域は、どのようにイベント（芸術祭）を通じて地域活性化に繋げられるかを解明することである。

こうした研究目的を達成するために、まず、三つの都市（福岡市、京都市、金沢市）における MICE 誘致戦略の各種取り組みに関するヒアリング調査を行った。ヒアリング調査先は、MICE 誘致・開催プロジェクトの全体マネジメントを行って重要な役割を果たしている各都市のコンベンションビューローであった。

次に、MICE 関連施設の集積や完備について把握するため、東京都、横浜市、京都市、福岡市、名古屋市、大阪市、仙台市、広島市（いずれも国に選定されたグローバル MICE 都市）のコンベンション・展示施設を見学しながら関連資料を集めた。

そして、新潟県や新潟市で三年に一度開催された「大地の芸術祭」や「水と土の芸術祭」を見学しながら主催者と交流し、芸術祭の各プロジェクトがどのように地域活性化や街づくりに結びついているかを解明した。

研究を通じて明らかになったことは、MICE 誘致に関する各都市のコンベンションビューローの役割、支援制度（考え方、実施内容など）、推進の体制（国内・海外プロモーション）、地域との連携と協働などである。収集した MICE 関連施設の資料により、世界遺産・文化財等を活用するユニークベニューは、誘致成功に関する決め手の一つ

であることが明らかになった。

また、芸術祭の開催は、過疎地域への経済や広報効果に繋げるだけでなく、地域歴史や文化への理解を深め、地域への誇りを育む効果もある。しかし、文化に関する施策はすぐに効果がでるものではないので、長期間にわたって続ける検証する必要がある、今後の研究課題になる。

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

題名：市町村合併後の文化創造都市づくり－新潟市「水と土の芸術祭」を例として (

発表者：陳玉蒼

会議名：2019年企業文化やビジネス発展研究会

日時：2019年5月31日

場所：実践大学高雄キャンパス教育センター、高雄、台湾

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)